



上尾の児

埼玉県立上尾特別支援学校

平成31年2月4日

「時の流れ」

校長 井上 隆

2019年がはじまり、1か月が過ぎました。時が経つのは早いものですね。今年亥年です。亥年は、次の始まりに向けて新しく元気を蓄える年だそうです。また、病気予防や勇気と冒険の象徴とされているそうです。今現在インフルエンザが流行しており、本校においても罹患する生徒が増えてきております。まだ、学級閉鎖になる状況ではありませんが、今後が心配です。何とか、亥年パワーでインフルエンザを撃退してほしいものです。また、亥年は、十二支の中では、最後の干支であり、今までの12年の締めくくりでもあります。また、新たな12年への橋渡しとも言えるのではないのでしょうか。



さて、今年、平成から新しい時代へ変わる年でもあります。時代が昭和から平成に変わった時は、学校もしばらくは落ち着かない様子であったように記憶しています。あれから31年目を迎えますが、この間、教育も大きく変わってきました。平成が始まった当初は、養護学校義務制になって間がなく、指導も手探りでした。でも、今では、いろいろな障害についても明らかになり、その対応についても確立してきています。新しい時代はどのようなことになるのか楽しみですね。とはいえ、変わるからと言っても急にガラッと変わるということでもないと思います。以前とのつながりの中で、着々とよい方向へと変わっていくことが良いのかもしれない。本校も、このように変わっていければと思います。

特別支援学校高等部学習指導要領については、1月19日に高等部案のパブリックコメントが終了したところです。近いうちに公示されるのではないかと思います。新しい学習指導要領は、10年先を見越して作られたと聞いております。先の未来を見据えて今を作ることは大変であると同時に大切なことであると思います。本校も来年度で40年目を迎えます。今までの歴史を踏まえながら、新しい視点も取り入れ、学校運営を進めて行ければと思っております。10年後の開校50年を迎えるころには、その先の10年を見越した取組を考えていくことになるのかもしれない。常に先を見ながら、今どうすればよいのかを考えていくことも必要なのではないのでしょうか。これは、子供たちを如何に育てるのか、ということにもつながると思います。高等部卒業後はどのような生活をしていくのか、また、その生活を確立するためには今何が必要でどのように子供たちを育てていけばよいのかなど、先を見越した指導を考えることが望ましいのではないかと思います。

今年、ラグビーのワールドカップが日本で開催されます。熊谷ラグビー場でも試合が行われます。そして、2020年には東京でオリンピック、パラリンピックが開催されます。選手の努力の成果を目の当たりにし、子供たち自身の生活に反映していければと願っております。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、今後とも本校への御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

小学部 修学旅行

小学部6学年では、11月29日（木）～11月30日（金）1泊2日で千葉・東京方面へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、東京ディズニーランドで様々なアトラクションや美味しい昼食を楽しむことができました。普段の生活では味わえないドキドキ感を楽しみながら経験することができました。2日目は、葛西臨海水族園でたくさんの魚やペンギンのエサやりタイムを見学しました。また、海洋生物を実際に触れるコーナーもあり、不思議な感触を楽しむことができました。

2日間通して、様々な経験ができ、とても充実した修学旅行を過ごすことができました。



高等部 マラソン大会

マラソン大会に向けた健康観察や会場での応援等、御協力有難うございました。風も強く気温の低い中での実施でしたが、生徒82名、途中リタイアすることなく、全員が無事完走を果たすことができました。皆よく頑張ってくれたと思います。今年度も残すところ2ヶ月となりました。マラソン練習で得た体力を活かして、元気に学校生活を送りましょう！

